

# 2024年1-3月期2次QE(改定値)の公表について

令和6年7月17日

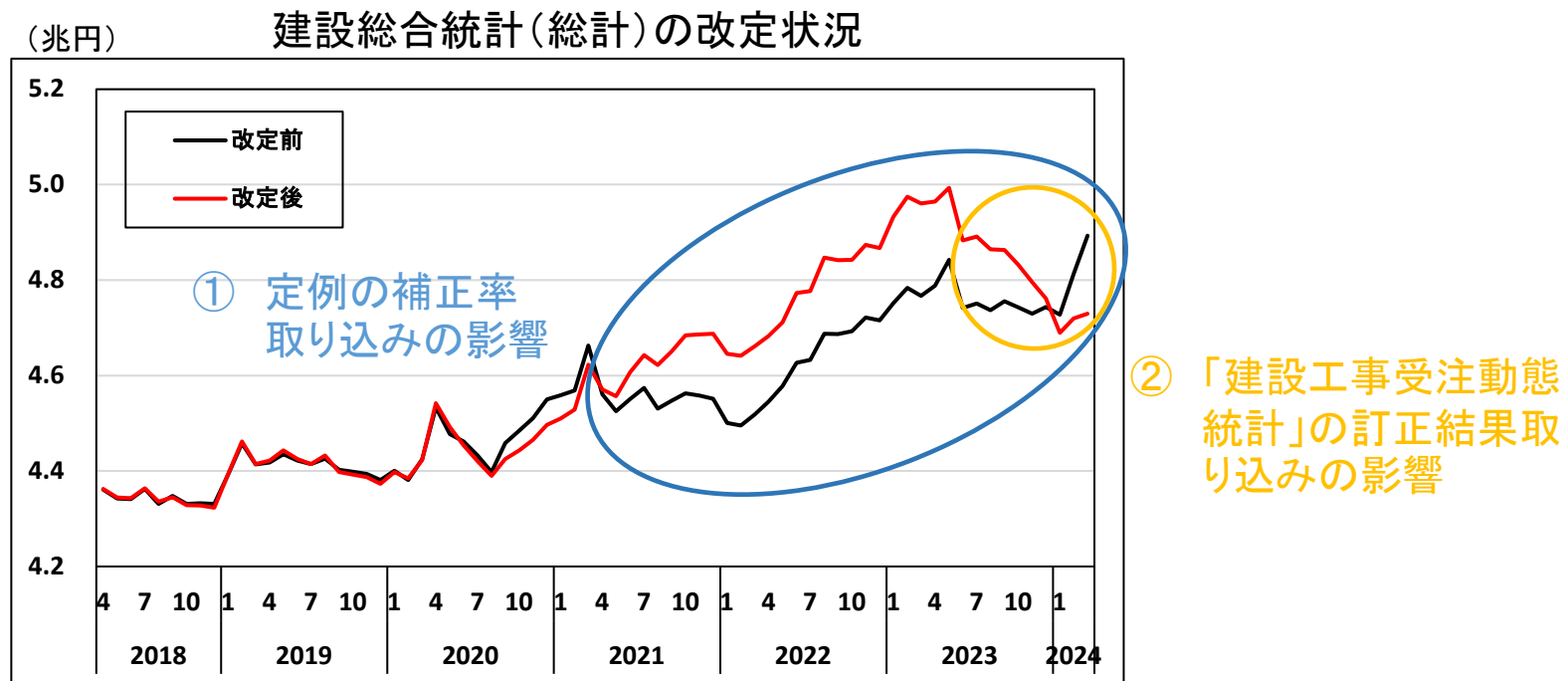
統計委員会国民経済計算体系的整備部会

内閣府経済社会総合研究所

国民経済計算部

# 「建設総合統計」の遡及改定 （「建設工事受注動態統計」の訂正を含む）

- 「建設工事受注動態統計」において、地方公営企業からの受注額（令和5年6,8,9,11,12月及び令和6年1月,3月分）について、回答者の報告内容に誤り。国土交通省は6月11日に同内容の訂正後の数値を公表。
- 「建設工事受注動態統計」の受注額等をもとに、出来高ベースの建設投資額を推計する「建設総合統計」について、例年同時期に行う遡及改定を6月25日に実施。今年度の遡及改定は①定例の確定した投資額の実績値から算出される補正率の取り込みと②「建設工事受注動態統計」の訂正結果の取り込みを含む内容。

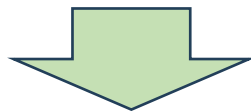


注：国土交通省「建設総合統計」を内閣府で季節調整

# 国民経済計算(四半期別GDP速報)における対応

## 背景

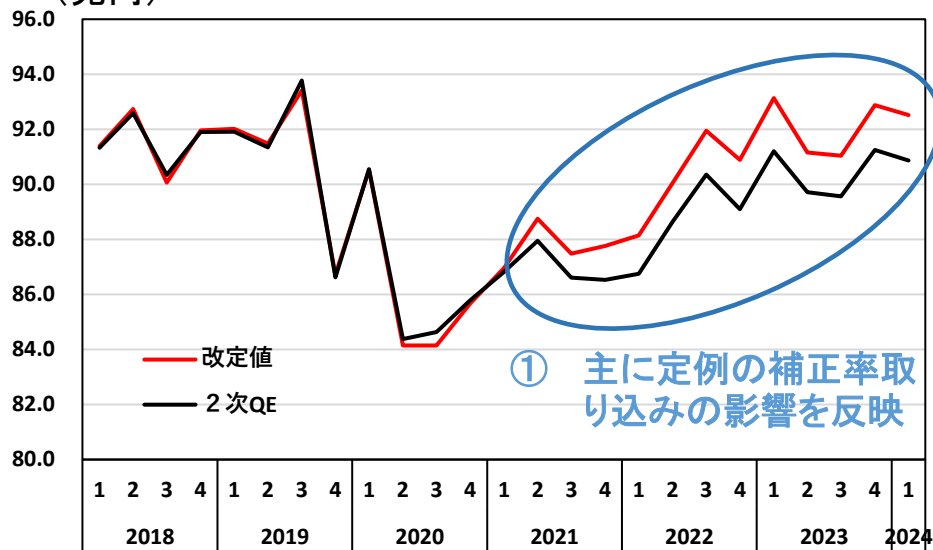
- 「建設総合統計」は、四半期別GDP速報(以下「QE」)において、一国全体の「建設投資額」等及び「公的固定資本形成」の推計に利用。
  - 特に前頁の「②「建設工事受注動態統計」の訂正結果の取り込み」は、QEにおいても、公的固定資本形成を中心として、直近期の結果に影響が想定。
  - 通常であれば、基礎統計の遡及改定は、次に公表が予定されているQEで反映することが原則。一方で、今回は6月10日に1-3月期2次QEを公表したばかりであり、次の4-6月期1次QEの公表日(8月15日)まで、一か月以上間が空くこととなる。
- ※ 1-3月期のQEで2023年度値が出たことから、この間、政府内外の諸機関が、2024年度の成長率見通しの改定などを行うことが想定



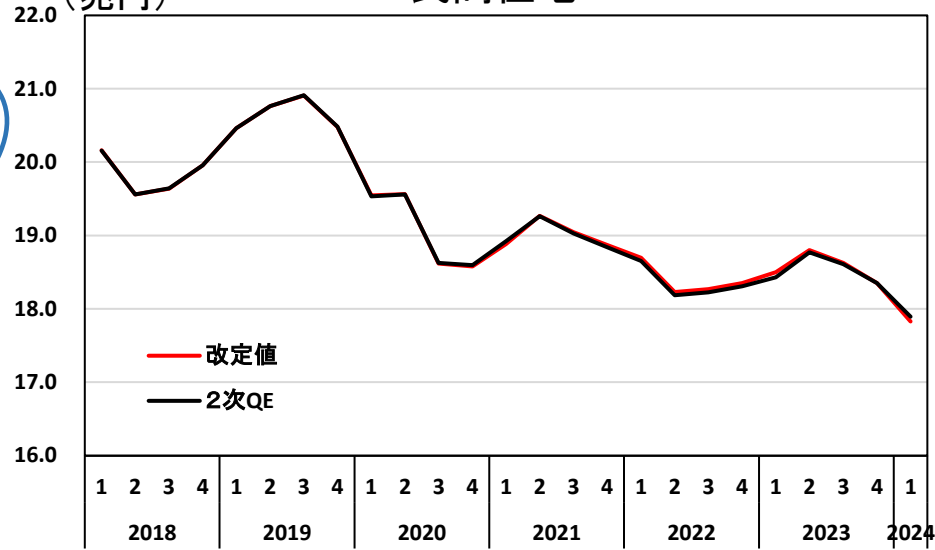
- このような状況から、「建設総合統計」の遡及改定(「建設工事受注動態統計」の訂正含む。)を反映した1-3月期2次QE(改定値)を7月1日に公表。

# 2024年1-3月期2次QE(改定値)の概要

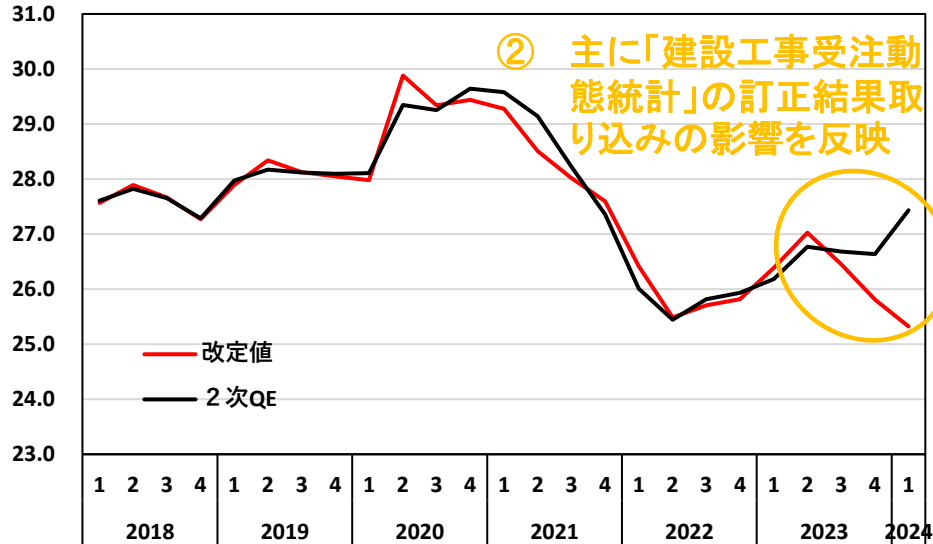
(兆円) 民間企業設備



(兆円) 民間住宅



(兆円) 公的固定資本形成

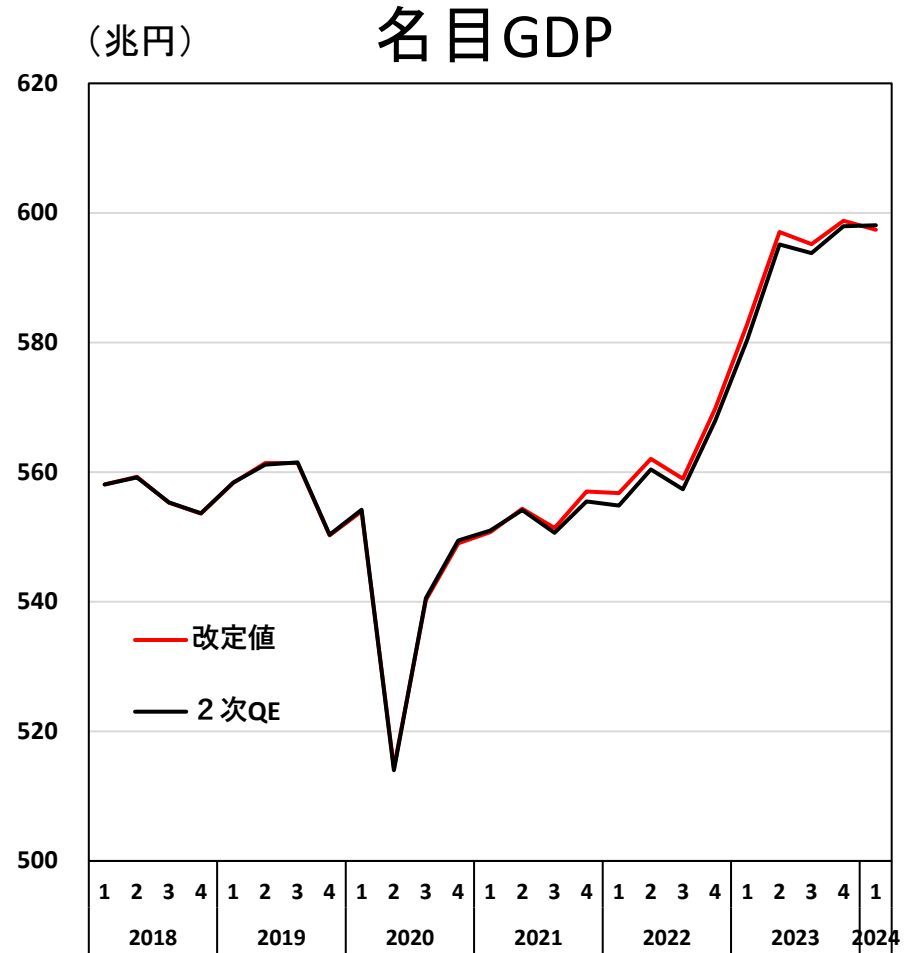
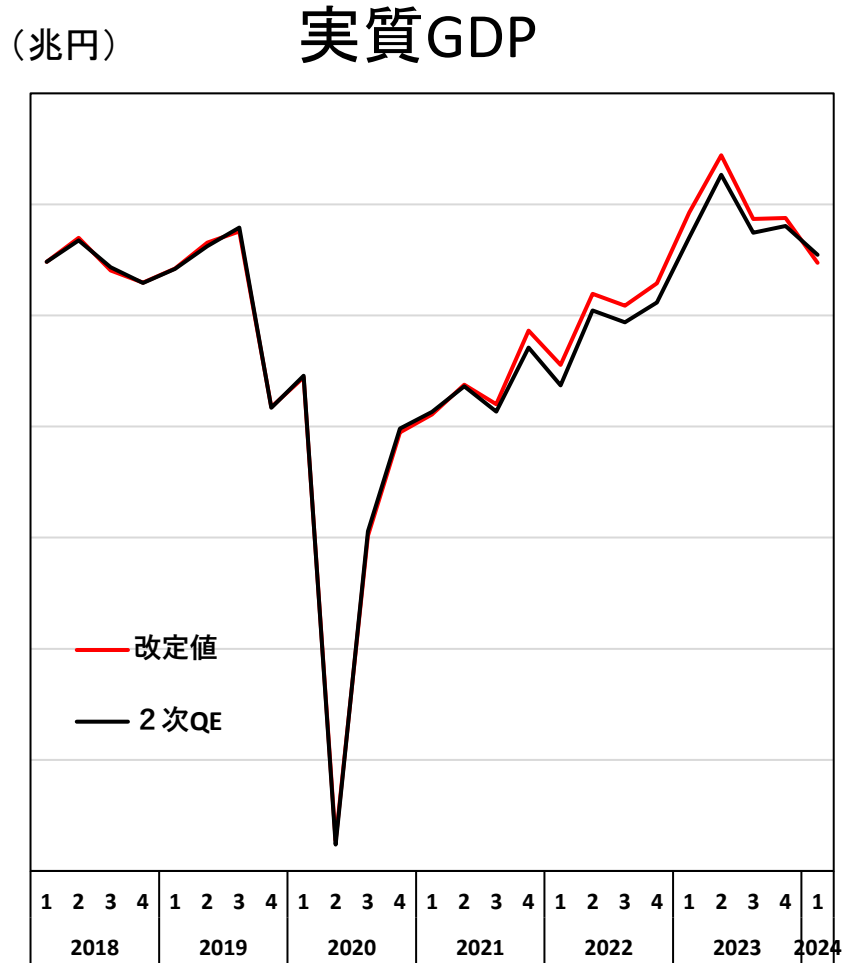


(前期比、前年度比:%) 実質GDPの改定幅

	2次QE	改定値	改定幅
2023年度	1.2	1.0	▲0.2
23年度Q2	1.0	0.9	▲0.1
Q3	▲0.9	▲1.0	▲0.1
Q4	0.1	0.0	▲0.1
24年度Q1	▲0.5	▲0.7	▲0.3

※グラフはいずれも実質季節調整系列(年率換算)

# (参考)GDPの改定状況



※いずれも実質季節調整系列(年率換算)